

会 議 録

1 会議名

令和3年度第3回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項（公開）

(1)自主的審議事項について

(2)令和3年度牧区地域協議会委員視察研修について

(3)令和3年度地区懇談会について

3 開催日時

令和3年6月22日（火）午後6時30分から午後20時00分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎
- ・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、隠田次長、飯田グループ長、藤井班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【隠田次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。

- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：小黒委員に依頼。
- ・本日の協議事項である、(1)自主的審議事項について、事務局に説明を求める。

【藤井班長】

—資料1に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程事務局より説明があった内容について、意見や質問はないか。
(一同意見なし)
- ・実際にアンケートに回答したのが対象者の58.8%と少ないが、回答した方からは真剣な意見をいただいた。意見交換会という形になれば、回答しなかった方にも意見を伺いたいと考える。
- ・次に、意見交換会をどのような方法で開催するのか決定いただきたい。事務局の報告にもあったが、会議方式のように大勢で行うと、発言しづらいという意見もあった。可能ならば、少人数のグループごとに分かれた方法が良いと思われる。グループ分けに関してもご意見をいただきたい。また、時間や集まる場所に関しては、事務局に一任する形でいかがか。

【小黒委員】

- ・私自身、今回対象である牧剣友会の立場であり、私がいると意見が言いづらいこともあると思われる。可能であれば、稽古を行っている最中に私自身は道場で子供たちの指導を行い、近くで見ているお母さん方は隣のコミュニティプラザへ移動し、話をするのが一番良いのではと考える。牧フレッシュガールズに関しても、夜に練習を行っているため、時間内に行けばお母さん方に話を伺える。一方、牧クロスカントリースキークラブは、平日の夜ではなく、土曜日・日曜日の昼間に練習し、そして遠方の場所で練習を行うこともある。予め行動を確認し、日程を合わせてお母さん方に意見を聞くのが良いと考える。

【西山会長】

- ・委員のグループ分けに関しては、五十音順で4人ずつの3班体制はいかがか。日程の調整に関しては相手方の都合もあるため、事務局に一任し、決まり次第連絡することで良いか。

【飯田副会長】

- ・事務局の説明にもあったが、机を囲んで堅苦しい話し合いだと若いお母さん方も言いたいことを言えず、所長や次長が目の前にいて、地域協議会委員も大勢で出向くと、意見交換会どころか堅苦しくなるばかりだと思われる。3団体のスポーツクラブの若いお母さん方が感じている、地域の実情や自身の困っていることを遠慮なく発言してもらうためには、リラックスした雰囲気での話し合いが大事だと思う。それを受け、会長が話されたグループ分けの意見に賛成し、他の委員の意見も伺いたい。

【池田委員】

- ・私も会長、副会長の意見に賛成である。そして、小黒委員が意見として出されたやり方に賛成だが、練習時に我々が踏み込み、子供たちが練習しているにも関わらず、お母さん方に別場所で話を聞くのは問題ないのか。

【小黒委員】

- ・全く問題がないとは言えない。しかし、お母さん方に無理に都合をつけてもらうのではなく、委員が出向き、意見を伺う方がお母さん方の手間が省ける。相手にとっても気持ちが良い、邪魔にならない程度に和気藹藹と様々な意見を伺うことができれば、地域協議会としても良い意見が出ることに希望を持てる。

【池田委員】

- ・少人数で、長時間にならない進め方が良いと思う。

【西山会長】

- ・私の個人的な意見になるが、スポーツ教室に通う小学生を対象としたアンケート結果の話が中心になると思われる中、大浦安・浦川原区・大島区・安塚区で地域協議会が学校の合併について検討を始めていることを受け、それらの話も出ることが想定される。話が出た場合、委員の皆さんがどの程度踏み込んで話をするかも意見を伺いたい。

【小黒委員】

- ・その件に関しては、親世代と行政の話ではないか。最終的には行政で決定するものであり、地域協議会の立場で、意見を言って良いかどうか。

【西山会長】

- ・元々少人数である牧区の学校が合併する場合、他の区との問題も出てくる。特段、教育委員会から言われている訳ではないので、お母さん方と話をする中で、飛躍した内容を話すことや方向性を決めることは行わず、意見だけ伺うのが良いと思う。これに関しても、委員の意見も伺いたい。

【井上委員】

- ・今回の話し合いに関しては、行政のことを大まかに言うのは控えて意見があれば受け止める程度にし、アンケート結果にあった「子供たちの遊び場がない」ことや「子供たちがどのように交流したら良いのか」等を話し合い、お母さん方が話し合いをして良かったと思ってもらうことが大事だと思う。

【坂井委員】

- ・今回、アンケートの対象が3団体のスポーツクラブであるが、現在、牧区で最も人口が少ないのは保育園だと思う。今後、牧区の子供たちを活性化させていくという点では、保育園の保護者の方にも意見を聞いたほうが良いと思う。アンケートの中には、「保育園や学校の保護者会の総会に出て意見を伝えたい」という意見もあった。小さいお子さんをお持ちのお母さん方は、悩みも多くあると思われる。少人数の牧区での子育てに関しても、悩みや意見が出るのではないかな。

【小黒委員】

- ・坂井委員が言われた保護者会総会に行っても参加者が全く発言しないことから、しっかりした意見を聞いたことは一度もない。少人数であるが故に、意見を言いづらい雰囲気となり、あまり意味がないと思われる。時間的な問題に関しては、3団体のスポーツクラブへ練習時に出向くことにより、お母さん方の負担は解消される。

【難波委員】

- ・アンケート自体は3団体のスポーツクラブのみ行っているため、今回の対象はこれらの団体である。意見交換会を開催した上で、後日また協議し、保育園やスポーツクラブに入っていない小学校の子供の保護者に意見を伺う方法を考えれば良いと思う。

【佐藤委員】

- ・私の孫たちも、運動が苦手な性格だが、学校の部活や牧振興会のプロジェクトに参加している。まずは、スポーツクラブで活発に活動する子供のお母さ

ん方に話を伺い、その後それ以外の人たちにどのようにアプローチしていくのかを考えながら、順番に対象を広げていくように委員で検討する形はどうかと考える。

【西山会長】

- ・これらに取り組む目的は、自主的審議事項の目標をどのように決めるかであり、佐藤委員が言われたように、まずスポーツクラブのお母さん方を対象とし、さらに展開して保育園、小学校、中学校、と考えていけば良いと思う。

【井上委員】

- ・基本的にどのような話をするのか事前にイメージを持つためにも、おおよその話し合いのテーマを伺いたい。例えば、「子供がどういう風にして楽しみがあるか」や「親としてどんなことを子供に願っているか」が考えられる。

【西山会長】

- ・先程、学校の合併の話も出るのではないかと言ったが、井上委員が言われた話の過程で子供たちが少ないのでどうしたものかという主旨の話も多く出ると思われる。お母さん方の意見を受けて、後日地域協議会で協議したいと思う。

【難波委員】

- ・話を聞きに行くのであって、我々が意見を述べるわけではない。合併を進めてほしいと考える保護者がいれば話は別だが、現時点では牧区で学校の統合の話は出ていないのだから、事前に準備するのもおかしい。

【西山会長】

- ・他に意見を求めるがないため、日程については事務局で調整し、具体的な日程が決まり次第連絡する。

【山岸所長】

- ・事務局に一任するとの話が出たが、4名ずつ3班体制で意見交換会を行い、補足として、小黒委員は牧剣友会には出向かず、清水委員は牧フレッシュガールズには出向かないことが想定される。事務局側で班を割り振るので、牧クロスカントリースキーの練習が土曜日か日曜日に入ってくる等、どうしても都合がつかない場合は委員同士で交代してもらおう方向で良いか。時期としては、本日話が決定したことを受け、各スポーツ団体の保護者に連絡を取り、相手方の都合を踏まえ調整しながら、7月中に行うことで良いか。

【藤井班長】

- ・今一度、各スポーツ団体の活動日の確認をしても良いか。

【小黒委員】

- ・牧剣友会は月曜日と木曜日が活動日であり、時間は午後7時から午後8時30分である。

【藤井班長】

- ・牧フレッシュガールズに関しては、水曜日と金曜日の午後7時から午後9時で良いか。

【清水委員】

- ・はい。

【佐藤委員】

- ・可能であれば、私たちの班は夜に参加するよりも、土曜日・日曜日の日中に参加する方がありがたい。

【山岸所長】

- ・では、1班が牧フレッシュガールズ、2班が牧クロスカントリースキークラブ、3班が牧剣友会で良いか。

【小黒委員】

- ・個人的な事情で申し訳ないが、今週に地区大会があり、来月の17、18日と新発田での大会を経て、県大会が終わる7月20日以降にはお母さんに時間的余裕が生まれる。現在そこへ向けて親子で稽古する場合もあるため、7月20日以降に日程を組んでもらえればありがたい。

【西山会長】

- ・意見を求めるが無く、続いての協議事項である、(2)令和3年度牧区地域協議会委員視察研修について、事務局に説明を求める。

【藤井班長】

—資料2に基づき説明—

【西山会長】

- ・新型コロナウイルスの影響で視察先等未定の事柄もあるが、委員の意見も伺いたい。

【難波委員】

- ・今のところ市内は問題ないのか。

【山岸所長】

- ・問題としては、受け入れ先がどうとらえるかによる。イベント関連に関しても、徐々に再開し始めている傾向である。

【高澤委員】

- ・牧区内ではなく、近場の隣接区の地域活動支援事業がどのようなことを行うのか興味がある。

【難波委員】

- ・今回、自主的審議事項で子育て支援の関係に取り組み、会長も大浦安の話をされた。旧東頸城の子供が小規模であり、牧区と同様の実態である。今後3団体のスポーツクラブとの話し合いを経て様々な意見が出てくると思われるので、他の区でも取り組んでいけば視察先として考えても良いのではないかと。学校の合併の件についても話を伺えると思う。

【山岸所長】

- ・高澤委員が言われた地域活動支援事業の件は、視察先の区が決定すれば、視察先の事務局が対応するような形が想定され、難波委員の意見はやはり地域協議会として、浦川原区の方に話を聞きに行くような形となる。

【小黒委員】

- ・地域協議会同士での話し合いということか。

【山岸所長】

- ・板倉区で3校統合の話を進めるにあたり、浦川原区が先行していたため、板倉区地域協議会から申し入れをして、浦川原区地域協議会へ話を伺いに行った記憶がある。

【西山会長】

- ・浦川原区の話が出たが、安塚区が牧区と同程度の状況である。安塚区と話し合った方が良いのではないかと考える。

【小黒委員】

- ・安塚は現在学校が1つであり、春の新聞記事で、安塚の中学校に入学した子供が5人という記事が載っていた。牧区から見ると規模の大きい安塚区が、たった5人しかない現状に切ないと感じた。

【山岸所長】

- ・現段階で不明な点が、浦川原区地域協議会が大島区・安塚区と話をした上で進めているのか、もしくは全体を見た中で単独で進めているのかである。それにより今後の対応が変わってくる。

【佐藤委員】

- ・確かに、子供の数が減少し、困っている場所へ話を聞きに行くのも一つの方法であり、大事である。しかし、牧区の場合は、地域活動支援事業で毎年多くの人が手を挙げ、予算を超過している現状に対し、昨日の新聞に他の区の二次募集の記事が出ていた。地域活動支援事業の位置づけや重要視されているのか否か、そこに住んでいる人の気力があるのか否かによると考える。先日、板倉区の職員の人と話す機会があり、板倉区では1つ1つの事業を細かく委員が精査して、いくつかの事業を不採択とした結果、逆に予算が余り、二次募集を行ったとのことである。なぜ、牧区は意欲があるのかと聞かれた。それらを踏まえ、何に重点を置いて地域活動支援事業に手を挙げているのかを清里区・板倉区・三和区から2，3件程、意見を聞くのはどうか。交流も昔からある3区をターゲットに、それぞれの事務局に声をかけ、視察の対象としたらどうか。

【西山会長】

- ・今後、二次募集、三次募集により、最終的に地域活動支援事業がどのような結果になるのか、現段階では分からない。先日、13区以外の地域協議会委員の話を聞く機会があり、各地の現状を聞いた。それを踏まえ、今回視察先は13区を対象とするのか、もしくは旧上越市を対象とするのか。また、内容に関しては、地域活動支援事業についてなのか、もしくは子育て関連なのか。ある程度絞って話を進めるのが良いと思う。

【井上委員】

- ・子供が少なくなっているところに地域協議会で統合・合併の話を含めていくのは難しいと思う。以前、浦川原区の小学校の統合に関わったが、人によって異なる意見が想定される。地域協議会が先導し、話が形となり、その後保護者の方がどうしたらいいのか考え、最終的に最も話題になったのがスクールバスをどう運行するのかであった。誰からどの話を聞くかの判断も難しく、佐藤委員が言われたように、地域づくりを地域協議会がどのように関わりながら進めていくかの中に、子育てや地域の中での生き方の話も出てくる。

【坂井委員】

- ・この上越市の中で、今一番地域として活発に活動していて、元気がある区はどこか。そのような区のいい点を学ぶのも一つの案だと考える。

【西山会長】

- ・牧区は地域協議会ばかりでなく、深山荘やイベントに関しても一生懸命取り組み、非常に活発に見られている。名立区も一生懸命やられている。

【佐藤委員】

- ・中郷区も活発である。

【坂井委員】

- ・遠くに行くことはできないので、同じ中山間地域として、他県から人を呼び込む方法や地域の活性化について学び、子育て世代の親が住んでくれば、より良い牧区になる。佐藤委員が言われた、中郷区の案がベストに感じる。

【佐藤委員】

- ・中郷区もいいと思うが、以前視察研修で行ったことがある。

【難波委員】

- ・板倉関係は今後も会う機会があると思われ、今回は外した方が良くと思う。

【佐藤委員】

- ・個人的に、個性的で頑張っているのは、名立区だと思う。

【西山会長】

- ・名立区は海もあり、山も深くて山間地の方は苦勞されている。子供たちのスクールバスも問題になっていると伺う。それらの点も踏まえ、名立区は視察先として良いと思う。

【佐藤委員】

- ・所長の話にもあったが、今回行われる夢まつりは、牧区には文化協会があり、そこが自主運営し、15団体程参加して行っている。それはやはり、公民館事業からの引継ぎもあるだろうし、公民館で講師を呼んで事業を行った後、自主的に講師を招き続けている。手芸や写真等、牧区は活発に取り組んでいる。それがなかなか人口増加に結び付かないところが悔しい。

【西山会長】

- ・名立区へ視察に行くにあたり、地域協議会としてではなく、振興会のような形でも良

いのではないか。

【山岸所長】

- ・今の話は地域活動支援事業についてなのか、もしくは、まちづくりについてなのか。

【小黒委員】

- ・おそらく、これは地域協議会だから地域活動支援事業についてであり、地域の活性化については地域協議会の立場で意見を言うことではなく、意味がない。地域活動支援事業でどのようなものを採択されたのか。その過程を知りたい。

【山岸所長】

- ・今年度の名立区の提案事業は、配分額520万円に対して414万円であり、105万円余り不足している状態である。

【難波委員】

- ・ここで決めたとしても、視察先の都合もあるので、事務局に連絡を取ってもらって、詳細が決まり次第、事務局と会長で連絡を取ってもらうのはいかがか。

【横尾委員】

- ・まず視察研修を実施するのか、実施しないのかを決めなければならない。これからオリンピックを開催して世間の状況が変わり、研修の開催が難しい雰囲気になれば、視察研修はできない。いつ頃やるのか等の時期も決めなければならない。

【山岸所長】

- ・名立区の方で決めるのか、もしくはそれ以外なのか。資料No. 2を用意した理由は、本日決まらなければ、この用紙を提出していただき、とりまとめるために作成した。

【西山会長】

- ・視察先を名立区の方で進めるのか。あるいは、調査用紙を委員に提出してもらい再度取りまとめた後に決めるのか。採決を採りたいと思う。

(視察先を名立区とする案に多数の賛成意見あり)

【山岸所長】

- ・内容としては、地域活動支援事業の採択までの過程等を伺うことで良いか。

【佐藤委員】

- ・今まで行ってきた事業の中で、優れている事業や現在も継続している事業等、成功事

例を伺いたいと考えている。

【山岸所長】

- ・名立区の地域協議会の正副会長等に出席いただいて意見交換するイメージで良いか。

【西山会長】

- ・可能であれば、正副会長に出席してもらうことが望ましい。

【山岸所長】

- ・では、名立区の地域活動支援事業や、まちを思いやる活動を伺うという内容で良いか。
また、開催時期はどうするか。来月、再来月に開催することは難しい。

【小黒委員】

- ・9月は稲刈りで忙しい時期ではないか。

【西山会長】

- ・8月末には地区懇談会が予定されている。

【飯田副会長】

- ・10月下旬から11月の新しい市長が決まってからで良いのではないか。視察に行かなくても研修という形で、新しい市長から来てもらい、牧区地域協議会と議論するのも良いと思う。名立区に視察に出向き、地域活動支援事業の成功例を聞くことも良いと思うが、牧区が予算額を大幅に超過しているのに対し、名立区は予算を余らせている状態である。時期的には10月下旬から11月として、名立区と日程を調整していただければと思う。

【山岸所長】

- ・相手方に近々の日程を提示するのも失礼なので、10月下旬から11月の予定で話を進める。

【西山会長】

- ・視察研修は実施する方向で、時期は10月下旬頃、視察先は名立区に決定する。続いて、(3)令和3年度地区懇談会について、事務局に説明を求める。

【藤井班長】

- ・地区懇談会について説明する。地区懇談会については、職員が各地区へ出向いて地域の課題や市への要望等を把握し、今後の地域振興や市政運営に繋げることを主旨として、平成24年度から毎年開催している。昨年度は10月下旬の平日の夜に、区内9

会場にて開催した。今年度については、8月下旬である8月23日の月曜日から8月27日の金曜日の平日の夜に9会場と、昨年度いただいた意見を踏まえ、平日の夜に参加できない方の対応として、28日土曜日の昼間の開催を追加し、全部で10会場の開催を予定している。地区懇談会については、地域の課題を把握する必要があるとして、これまで地域協議会委員からも出席いただいている。今年度の出席についても、協議いただきたい。

【横尾委員】

- ・ 昨年も同様のことを話したが、各会場に参加して地域の実情を感じてもらうとともに、案内を出してもらう際、可能であれば一人でも多く参加してもらいたいと考えている。その気持ちを込めて文章を作成し、他にも町内会長に直接お願いする等のことを担当の方をお願いしたい。

【西山会長】

- ・ 何かこの件に関してご意見はないか。例年のとおり、委員の方で何人かに分かれて、日程を決めていただいて、それぞれ出向いていただく形になる。

【飯田副会長】

- ・ 今程会長からも各委員に出席いただきたいと話があったが、去年は、自主的審議事項を目標として、住民の方々がどのようなことを考えているのかを様々な観点から吸収したらどうかという一つの提案があった。今年は委員も出席しなくていいのではないかな等の意見もあると思うが、私は自主的審議事項だけではなくて、住民が一つ一つ年を取り高齢になっていく中で、例年のとおり心配事があると思われる。委員が出かけることにより、住民の方々がどのようなことを考えているのかを知るためにも、今年も各委員から都合をつけていただき、事務局から説明のあった10会場に出席いただければと思う。

【西山会長】

- ・ 副会長からも話があったとおり、今年も委員全員から参加していただきたい。次に、事務局より、連絡事項の説明を求める。

【藤井班長】

- ・ 「牧区地域協議会年間スケジュールについて」、自治・地域振興課から、国の「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の施行に伴い策定する、「上越市過疎地域

持続的発展計画（案）」について、該当区の地域協議会に諮問及び答申を行う必要があるとの連絡を受け、この度、開催の日程が示されたことから、年間スケジュールについて変更をきたすこととなった。既に、年間スケジュールについては各委員へ配布してあるが、本日、配布した年間スケジュールに変更させていただきたいので確認を求める。

- ・「主要事業・プロジェクトの概要の配布について」、企画政策課から上越市内で市及び国・県等が実施する主要61事業を冊子としてまとめたものになる。各委員へ配布し情報提供する。
- ・「「牧区地域協議会だより（第52号）」6月25日号発行について」、今回の編集担当、3班の各委員から、第52号の原稿について編集いただき、予定どおり6月25日の発行、全戸配布となるので報告する。
- ・最後に、次回の地域協議会の開催は8月10日の火曜日、午後6時30分より牧区総合事務所301会議室で行う。後日、また開催案内を送付するので、出欠の報告を求める。

【西山会長】

- ・連絡事項について、質問、意見がないか求める。

【難波委員】

- ・6月に入り、また熊の話が出ている。昨日は牧区で、本日も2件程熊の目撃情報があった。「パトロールをして搜索したが、見当たらなかった」ことがほとんどである。どの程度の搜索をしているのか。

【山岸所長】

- ・目撃情報があった現場へ職員2人で出向き、パトロールを行っている。藪に入って搜索をするまでは行わない。

【難波委員】

- ・人身事故が起これば話は別だと思うが、その程度なのか。

【山岸所長】

- ・パトロールに関しては、その程度である。

【横尾委員】

- ・昨年に清里区でも実際にあり、付近をかなり搜索したと聞いた。

【山岸所長】

- ・清里区の場合は目撃情報に関わらず、熊そのものが存在し、実際に人が襲われた。その後山に逃げてなかなか見つからないことから、我々でも追い払う対策をとった。

【難波委員】

- ・人に被害が及ばないと一生懸命行わないのか。

【山岸所長】

- ・よく町中で目撃された熊は、逃げ場がないので捕獲される場面も多く見られるが、先日牧区内で目撃された熊は、道路で横切ったのを目撃し、その通報を受けてから出向くので、熊が逃げた方向を断定することも難しいことから、大掛かりな捜索はしていない。車で移動できる範囲内を捜索している。

【横尾委員】

- ・これほど深刻になってきている状況の中、「熊が目撃され、パトロールしたが発見されなかった」の繰り返しである。何か具体的に良い方向に進められないかという意見が今年の地区懇談会であった。

【小黒委員】

- ・警察官に常にパトロールしてもらうのはどうか。

【飯田副会長】

- ・通報があると、駐在所は実際にパトロールを行っている。

【山岸所長】

- ・最後に、今後の会議開催日が変更になったことから、お母さん方との意見交換会の日程のお知らせは勿論、地区懇談会の詳細に関しても、8月10日に委員に伝えるのは遅いため、事務局で決定し、文書にて通知する。

【西山会長】

- ・意見を求めるが無く、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。